

2020年度 林野庁補助事業

『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業
モデル地域を募集します!!

歴史・文化施設、観光・交流施設、象徴的な宿泊・飲食施設、アンテナショップ等の「木のおもてなし」体感施設等と農山村地域が連携・協働して、「木の文化」を活かした「木のおもてなし」のモデル的なワークショップ等の開催やプロモーション映像を制作する「モデル地域」を募集します。

「木の文化」の発信・
「木のおもてなし」の提案とは？

- 日本は古来より、生活や生業のあらゆる場面で木を使い、木と親しむ「木の文化」を育んできました。
- 本事業では、日本が培ってきた「木の文化」を活かした多様な「木のおもてなし」について、主に来日観光客等の視点から再評価して、新たな形の「木の文化」と「木のおもてなし」の創造・発信を目指す取り組みを進めています。

これまでの取組は？

- 2018年度には、「木のおもてなし」の考え方、展開モデル等を紹介した「ガイドブック」、「コンセプト映像」、検討委員の「インタビュー映像」を制作しました。
- 2019年度には、地域で「木のおもてなし」を体験する「ワークショップ」開催、「プロモーション映像」の制作、検討委員である隈研吾氏、デービット・アトキンソン氏、涌井史郎氏による「公開座談会」を開催しました。(詳細は下記参照)

お問い合わせ先

(公社)国土緑化推進機 政策企画部
E-mail: fore-sapo@green.or.jp

*新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、テレワークにて業務を行っていますので、E-mailにてお問合せ下さい。

「モデル地域」募集概要

対象組織

- ① 「木のおもてなし」体感施設運営組織
- ② 農山村地域の自治体・団体・協議会等
- ③ ①②と緊密に連携・協働して、継続的に「木のおもてなし」の体験・啓発等を担う団体・旅行者者・メディア等

主な
支援内容

- ① 試行体験「ワークショップ」開催支援(上限30万円)
- ② 「プロモーション映像」製作(制作費を負担)
- ③ 担当者向け研修機会の提供 ほか

実施形態

「木のおもてなし」体感施設等において、多様なプロモーション手法で参加者を募集して、以下の何れか形態の取組を実施。

- ① 拠点施設型
(象徴的な観光・交流/宿泊・飲食施設、地域の森林等で多様な体験を実施)
- ② 周遊ツアー型
(地域外の象徴的な歴史・文化施設等を活用し、地域の「木の文化」等を系統的に体感できるツアーを実施)
- ③ 都市地方連携型
(都市部のアンテナショップ等での展示・体験等で、現地への訪問を促進)

採択件数

4地域程度
(但し、「プロモーション映像」制作は2地域)

応募締切

2020年7月17日(金) 当日必着
(E-mailにて送付)

2018ガイドブック



2019ガイドブック



プロモーション映像



公開座談会映像



◆募集要項・関連資料はコチラ：<http://www.green.or.jp/topics/omotenashi/>